

広報

(毎月10日発行)



かわにし

昭和59年 9/10 No.313

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

人口の動き

— 9月1日現在 —

男 4,813 (-5)

女 4,929 (-2)

計 9,742 (-7)

世帯数 2,334 (-5)

() 前月比較



涼風が吹き、落ち着いて勉強できる二期が始まりました。

九月一日は、夏休みを楽しく過ごした児童・生徒たちが、それぞれの学校へ、日焼けした顔に笑みを浮かべて登校しました。

橋小学校の児童たちには、とりわけ活気がみなぎっていました。待ちこがれていた新しい校舎に入れるからです。

始業式で校長先生は、「今日は一生の思い出になる日です。きれいな校舎ができました。校舎がよくなり、子供たちもよくなったと言われるよう、しっかり勉強しましょう」と呼びかけました。

児童の代表は、二期期の目当ての中で、新しい校舎をたいせつに使い、勉強にスポーツにがんばることを掲げていました。

(10ページに関連記事を掲載)

9月の休日救急医

15日	至誠堂	医院	(西浦町)
16日	第二藤巻	医院	(上野)
23日	山口	医院	(袋町)
24日	富田	医院	(神明町)
30日	中条	病院	(中条)

10月上旬の予定

7日	大山島	医院	(川原町)
10日	山口	医院	(下条)

再開発」に対し

申入書を提出

国鉄では、いま、信濃川第二発電所の建設計画を進めています。これに深いかかわりを持つ川西町としては、具体的にどう対応すべきかを見極めるうえで、たいへん重要な時期を迎えました。

この国鉄計画は、正式には信濃川水力発電再開発計画と呼んでいます。

その概要としては、中里村宮中地区に取水施設を設け、水路トンネル一条を増設して、小千谷市に容量三百五十万立方メートルの調整池と発電所を建設することによって、約二十万キロワットを発電するというものです。

川西町にとっては、またも、水路トンネルが町の南北を縦貫することとなり、町民の生命の糧である地下水に与える影響が、大きく懸念されています。

特に、過去四期にわたる信濃川水力発電開発によって、まさに苦渋に満ちた水不足の体験を持つだけに、町としては、初期の計画発表以来、慎重にこれを見守ってきました。

同時に、必要な対策については、これまでにも、すでに講じてきましたが、今後は、いよいよ町を挙げてこの問題に取り組むため、目下、その準備に当たっています。

この第二発電所建設計画は、本年度に入って急速に進展し、五月八日には運輸大臣の事業認可が出ています。

そこで、町では、国鉄側に対し説明会の開催を求め、五月十五日に、公式には初めて、同計画についての説明を受けました。

それ以降、町議会にこの問題の特別委員会を設置し、あわせて役場庁内でもプロジェクトチームを

川西町の「条件」を 申し入れる

編成して、ともども対策を協議してきたところです。

その結果、時宜を失わないよう、川西町としての大筋の要求事項を取りまとめ、八月二十八日付で「信濃川水力発電再開発に関する申入書」として成文化しました。

申入書の内容は、次ページのとおりです。

(全文掲載)



国鉄側の説明会 (5/15 役場の講堂)

日本国有鉄道

総裁 仁 杉

厳 殿

新潟県中魚沼郡川西町

町長 南 雲 春 雄

昭和 59年 8 月 28 日

信濃川水力発電再開発に関する申入書

川西町及び川西町民の深い注視の的となっていた信濃川水力発電再開発計画について、ようやく、その概要が明らかとなりました。

かねて、当町は、この計画が「国鉄の自営電力不足に対処するため重要かつ急を要するもの」と理解し、期成同盟会に参画するなど、その促進に当たっては協力的な立場をとってきたところであります。

しかし、かつて、石炭節約に関する国策として進められたところの、鉄道電化に伴う信濃川水力開発によって引き起こされた水不足問題で、生活はもとより生産活動にまで及んで長い間の苦闘を余儀なくされ、いわば首都圏の動力源確保のため犠牲を強いられてきた川西町の住民にとって、この計画は、大きな衝撃であり、ふたたび不安と動揺を与えるものとなりました。

このため、一再にわたる貴当局の説明を受けたところでありますが、この計画における水路トンネルが川西町の水源地域を縦貫するだけに、水不足に対する住民不安は、むしろ強まる一方であり、町行政にとってきわめて緊要な課題となっております。

当町としては、このような状況から、過去の体験に照らして、その対策に遺憾のないよう、町を挙げて取り組んでおるところであります。

ついで、今回の計画が、国鉄発展のため国家的見地から行われるものであるかぎり、当町として引き続き協力を惜しむものではありませんが、重ねて国策として取り上げられたうへは、その前提として、川西町における恒久的な水資源確保の保障を得ることを不可欠の条件といたします。

同様に、工事期間中及び工事完成後における地域の環境保全に対する保障並びに信濃川水力発電再開発を契機とする川西町の新たな町づくりにも特段の配慮を講ずるべきであることを、この問題に関する当町の基本的姿勢として表明いたします。

そこで、信濃川水力発電再開発計画の起業者として、当川西町に対し下記事項について、その履行を確約のうえ工事に着手されるよう、ここに申し入れいたします。

記

1 水の枯渇対策について

- (1) 飲料水等生活用水の事前先行確保に当たられたい。
- (2) 当町の基幹産業である農業用水をはじめとする産業用水及び冬期における消融雪用水の確保に支障を来たすことのないよう万全の方策を講ぜられたい。

2 環境保全について

- (1) 信濃川及び町内中小河川の流量確保を図られたい。
- (2) 水源涵養に支障を来たすことのないよう万全の配慮を払われたい。

3 区域内の条件整備について

- (1) 信濃川架橋の早期実現について、送水管供架との関連において、応分の費用負担を含む推進方を図られたい。
- (2) 千手発電所放水路橋の架橋を図られたい。
- (3) 工事に用運搬道路の整備を図るとともに安全対策について万全の措置を講ぜられたい。
- (4) 水路トンネル掘削に伴う捨土の有効利用に配慮するとともに関係の生ずる河川の整備を図られたい。

4 その他

- (1) 事業の準備のため行う測量又は調査の結果について当町に提示されたい。
- (2) 水路トンネル工事に関連して発生が予測される問題については、当町及び関係住民と協議のうえ事前調査を十分行い、必要な対策を講ずるとともに、工事施行中及びその後を生ずる諸問題についても、すべて国鉄の責任において解決されたい。

以 上

「水力発電

国鉄へ

九月十七日から

地区別に説明会

この申入書は、八月三十日に南雲町長が信濃川工事局に出向き、直接、先方に手渡ししました。申入書は、現時点における町のこの計画に対する包括的、基本的な姿勢を国鉄に示したもので、中

身の個々具体的な詰めは今後の問題となります。そこで、関係する地域の皆さんのご意見やご要望を承るため、九月十七日から、次の日程で説明会を開きますので、最寄りの会場へご参集ください。当日は、国鉄側から担当者が出席し、すでにお知らせ済みの準備のための立入調査の問題も含めて説明します。

◎ 説明会 日程表

期 日	時 間	会 場	対象地区
9月17日	午後 7:30～	橋 小学校	橋 地区
18日	午後 7:30～	上野小学校	上野地区
19日	午後 7:30～	川西中学校	千手地区
20日	午後 7:30～	千手小学校	千手地区

これまでの 町の対応

町では、5月1日に国鉄の認可申請（同8日運輸大臣認可）が出てから、すでに、地元説明会3回の開催、また、町議会の特別委員会も4回にわたって開くなどして対応を進めてきました。

なお、この問題は、企画財政課で担当しています。



鉄橋とその周辺

信濃川架橋は

鉄橋の下流 500m以内に

八月十一日 「促進委員会が答申」

信濃川架橋促進委員会は、五月二十八日に南雲町長から「信濃川架橋位置および取付道路の選定」などについての諮問を受けました。促進委員会では、「川西町の交通体系の現状をつぶさに検討し、将来の開発基本構想を踏まえながら」七回にもわたり委員会を開き、慎重に調査審議を重ねた結果、答申書をまとめ、八月十一日に役場の議場で町長に答申を行いました。答申の内容は次のとおりです。

□ 諮問内容

事項

- ① 信濃川架橋位置および取付道路の選定
- ② その他信濃川架橋に関し必要な

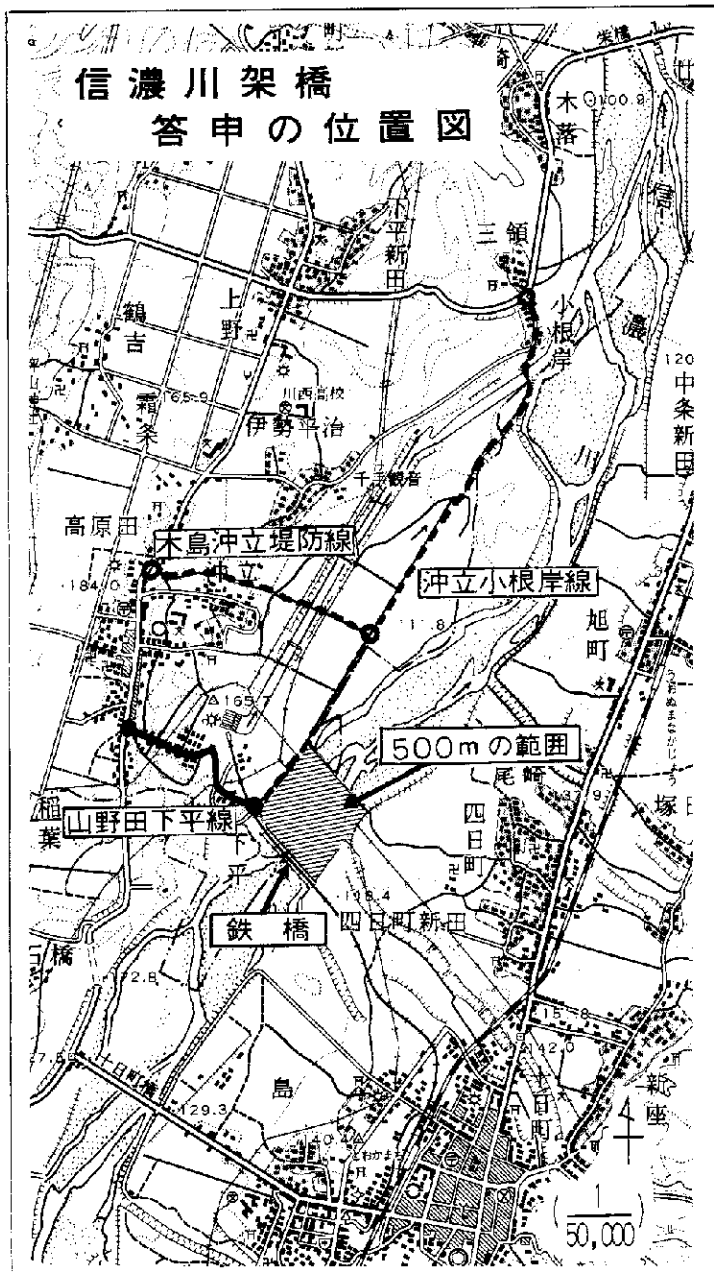
■ 答 申

- ① 信濃川架橋位置および取付道路

- ① 架橋位置については、国鉄資材運搬橋から下流五百メートル以内とする。
 - ② 取付道路については、町道山野田下平線とする。
 - ③ その他信濃川架橋に関し必要な事項
- 架橋についての確たる位置決定については、専門技術者の検討にゆだねることにする。また、国鉄関係の諸施設については、当事者間において慎重な協議を重ね結論を出すことにする。

▽ 答申決定に関する付帯事項

- ① 架橋に伴う直接の取付道路は町



町長に答申する小川会長

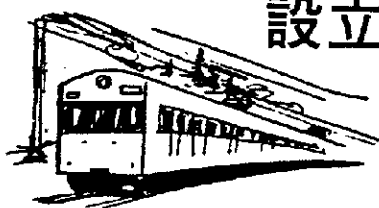
道山野田下平線に決定したが、同時に取り上げ慎重な調査審議を行った町道木島沖立堤防線および町道沖立小根岸線についても、川西町の将来の交通体系および地域開発を含めた路線として重要である。今後は除雪路線の認定、一部町道認定を行うなど早期に整備を要望するものがある。

「実現に努力します」

町長があいさつ

答申を受けて南雲町長は、「私どもは答申に盛り込まれた事柄について誠意を持ってこれの実現に努力をしたい。特に橋の位置とルートが選定されたことに関連して、今後の町づくりが重要な課題として展開される」と決意を述べました。

第3セクター 「北越急行(株)」が 設立される



沿線十七市町村の長、それに新会社に出資する団体・会社の代表が出席し、定款などを決めました。商号は北越急行株式会社とし、本店を新潟市に置き、取締役社長には君知事が就任しました。

営業区間は、六日町から犀潟(大潟町)までの五十九・四キロメートルです。

株式の総数は二万株で、一株の金額は五万円です。川西町の引受株式数は二十株で百万円になります。

北越北線に

豪雪地の夢を託す

北越北線を経営する第三セクター「北越急行株式会社」が、設立されました。

設立総会は、八月二十七日に新潟市で開かれ、発起人の新潟県と

北越北線は、昭和三十九年九月に六日町―直江津間六十八・七キ

ロメートルについて基本計画が策定され、四十三年八月に着工されました。これまでに約五一パーセントの用地買収と約五八パーセントの路盤工事が終わっています。

しかし、国鉄の経営状態が悪化したことにより、五十五年十二月に「日本国有鉄道経営再建促進特別措置法」が公布され、輸送密度四千人未満の新線建設は、第三セクター等で運営を引き受ける場合に限り工事を継続するという国の方針のもとに、五十五年度から北越北線の工事は全面的にストップされました。

この北越北線は、魚沼、頸城、上越の各地方を連結するとともに、首都圏と北陸地方とを結ぶ短絡線として、住民生活の安定向上と地域交通の確立に役だつばかりでなく、産業経済や観光の振興にも重要な役割を果たす路線です。

特に魚沼、頸城地方は全国有数の豪雪地であり、一年の半分を雪の中で過ごす地域住民は、この北越北線に「陸の孤島からの解放」の夢を託しています。

北越北線の建設は、地域の民生安定はもとより、新潟県の将来の発展のためにも促進されなければならぬとのことから、県と関係市町村で協議を重ねた結果、民間企業・団体の協力を得て、北越北線を経営する第三セクターを設立する運びとなりました。

人権擁護委員に

中村 謹治 さん

八月十五日付で、中村謹治さん(坪山)が高橋友義さんの後任として、法務大臣から人権擁護委員の委嘱を受けられました。

人権擁護委員は、国民に保障されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図るために置かれているものです。

次の問題でお困りの方は、他に

漏れることは絶対にありませんから、人権擁護委員のお宅へ相談にお出かけください。須藤茂一さん(仁田)も人権擁護委員です。

▽私的制裁、▽名誉信用等の侵害、▽教育を受ける権利の侵害、▽生活権の侵害、▽その他お困りの問題

ねん

きん

ふくし

国民年金保険料の

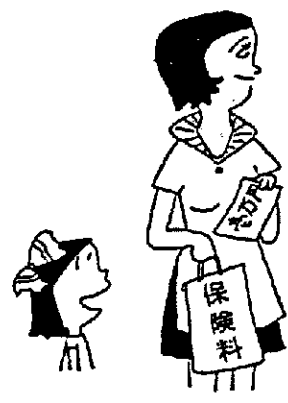
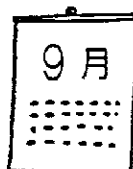
納め忘れは

ありませんか

将来、老齢年金を受けるためには、きちんと保険料を納めておくことがたいせつです。

めることが困難のときは、役場の住民課へご相談ください。

保険料の納め忘れはありませんか



また、事故などにより障害者になったり、一家の働き手をなくしたようなときに、生活保障である障害年金・母子年金などが受けられないこともあります。

証書提出のお願い

恩給、公的年金

あなたのたいせつな年金は財産でもあります。いま一度確認のために、納付書が着かなかったり、留守や都合が悪かったりで、納め忘れていないかお確かめください。

老齢福祉年金と恩給、公的年金等を併給されて、老齢福祉年金を受けている方は、老齢福祉年金の現況届に恩給、公的年金等の証書が必要です。

そして、離職したり、思わぬ災害や病気などで、保険料を納

早めに役場住民課へ提出してください。

拝見します 長寿の方の暮らしぶり

九月十五日は「敬老の日」、この日から二十一日までの一週間は「老人福祉週間」です。

これまで多年にわたって社会に貢献してこられたお年寄りを敬愛し、長寿をみんなでお祝いしましょう。

お年寄りからは、心身の健康に注意することはもちろん、今まで培ってきた知識と経験を社会に役立てていただきたいものです。

すべての人たちがお年寄りの福祉についての関心を持ち、理解を深めて、生きがいのある社会をみんなで作っていきましょう。

川西町には元気なお年寄りが大ぜい暮らしています。

今回は、その中の四人の方をお訪ねし、いろいろと人生を語っていただきました。

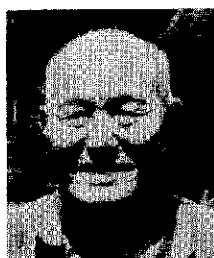
下原

須藤 軍平さん (88)

須藤さんには、管巻きの手をちよっと休めていただきました。

にわたりのエサくれと、この管巻きが日課です。管巻きは一日に一時間くらいずつやります。

管巻きをしています



朝は五時半ごろに起きます。毎日決まりよく起き、腹八分目の食事をし、寝るのは九時過ぎになります。

目も耳もよく、自分のことを自分でできるので幸せです。二年くらい前から野良には出ていません。

情緒豊かな若いころの村祭りを懐しんでいます。

若い世代に 知恵と経験
お伝えください

お年寄りのいるご家庭で注意していただきたいのは、「もう年なんだから」とか、「そんなことをさせては申しわけない」などと言

って、お年寄りの行動に制約を加えてしまうことです。

これではお年寄りの方も、「も

中島町

市川 イトさん (88)

野良仕事が好きだったのですが、リユーマチで五、六年前から歩けなくなりました。まくら元に置いてある電話の番をするのが楽しみです。

四十二歳のとき、お

電話番が
楽しみです



いに連れていってもらいい、東京見物をしたのが思い出に残っています。国際劇場で白虎隊などの芝居を見ました。

ごはんは平らに食べています。テレビは目に障るので見ません。

ゆったりと毎日を過ごしています。物覚えがよく、暗算もサツとできるとのこと。

大白倉

桐生 重吉さん (87)

食事は軽く一杯ずつにしています。今までに一かたけも食べなかったことはありません。

関節炎で両ひざが痛いので、庭先でぜんまい干しやわらすぐりなど、腰をつ

庭に出て
稼いでいます



いてできる仕事をしていきます。ひざが治った

ら杉の世話をしたいと思っています。大正十一年に今の家を建てたときは心からうれしかったです。

津南から孫娘がひまぐちたち(二歳と五か月の男の子)を連れてちよこちよこ遊びに来ますので、それを楽しみに待っています。

でも過言ではありません。お年寄りが、自分の知識や技術を「たいしたことはない」と思っているも、周りの人から見れば価値あることかもしれません。家庭や社会で役割を見つけ、伸び伸びと行動できるようにしてあげてください。

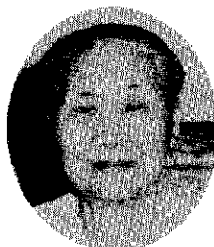
上野

小海 ソキさん (87)

去年、足を骨折してしまい、今はテレビを見るのが仕事です。時代劇がおもしろいです。

若いころには、いろいろと旅行をしました。北海道や四国へも行きました。

茶飲み話が
はりあいです



松島の海が印象的でした。

家にばっかりいるので、人から来てもらい茶飲み話をするのが何よりのはりあいです。

朝は毎日手足を動かす体操をしています。たっしやなときにやっていた編物を、手の震えが治った

らまたやりたいです。

川西町長寿者番付表 (9月1日現在)

氏名	町内名	屋号	生年月日	年齢	番付	氏名	町内名	屋号	生年月日	年齢
高橋ミツ	中仙田	竜田	明治23・3・1	94	横綱	星名正治	伊友木村	明治23・3・5	94	
中川トキ	仁田	橋場	23・12・5	93	大関	中村ソモ	大白倉伊ノ助	24・8・25	93	
田辺トハ	神社町	大上	24・11・25	92	〃	丸山周作	原田上方	25・1・27	92	
高橋徳一	伊友	前	25・12・10	91	関脇	酒井クラ	上町小路	26・4・11	91	
五十川キン	沖立	六兵衛	26・11・19	90	〃	藤巻力雄	上野藤巻医院	27・3・16	90	
阿部トワ	木島	阿部木工	27・7・21	90	小結	柄沢紋治	沖立栄吉	27・10・10	89	
若山千蔵	新町新田	佐左エ門	27・10・15	89	〃	小川駒治	岩瀬治郎左エ門	27・10・20	89	
南雲モト	四郎兼	喜久屋	27・12・12	89	前頭	星名佐藤治	上野星名	27・12・11	89	
高橋キヤウ	坪山	文四郎	28・2・10	89	2	大久保ミ子	野口安右エ門	28・2・24	89	
高橋豊治	高原田	音助	28・3・1	89	3	江口常治	小白倉かじ	28・3・28	89	
柳藤吉	学校町	音松	28・4・4	89	4	小林カネ	中仙田兵五郎	28・6・10	89	
沢口由蔵	下平新田	沢与	28・9・25	88	5	川崎孝治	元町川崎	28・9・28	88	
斉木松治郎	小脇	富田	28・10・16	88	6	小島クニ	新町新田橋場	28・11・18	88	
米山広松	室島	杉原	28・12・6	88	7	和久井イト	木落勤七	28・12・24	88	
羽鳥徳三郎	伊友	又四郎	29・1・10	88	8	上村キヨ	上野又八	29・1・13	88	
小川チサ	学校町	茂七	29・2・11	88	9	増田文吉	室島文蔵	29・2・15	88	
星名福三郎	伊友	福見屋	29・2・17	88	10	藤巻マキ	塩辛げつぜん	29・3・31	88	
須藤軍平	下原	きそうえん	29・4・15	88	11	水品トキ	新町新田仙年	29・5・5	88	
田村チカ	赤谷	久兵衛	29・5・30	88	12	小川国吉	岩瀬幸吉	29・6・22	88	
市川イト	中島町	勇屋	29・6・29	88	13	柄沢壮吉	沖立大林	29・8・28	88	
白井セイ	寺尾	新白屋	29・9・21	87	14	斉本周作	小脇勤兵衛	29・9・28	87	
小海ソキ	上野	小清	29・9・30	87	15	桐生重吉	大白倉満	29・10・14	87	
平野キイ	上町	平野機店	29・10・24	87	十両	高橋コノ	学校町角屋	29・11・20	87	
丸山ムメ	根深	五郎兵衛	29・12・7	87	2	村山庄八	高原田街道端	30・1・23	87	
登坂カウ	岩瀬	庄左エ門	30・2・10	87	3	北村クメ	山野田くりや	30・4・10	87	
田村ノイ	赤谷	久助	30・4・19	87	4	米山サク	室島治郎いん	30・7・20	87	
小林トヤ	元町	吉右エ門	30・7・24	87	5	小海保貞	田中町大洋堂	30・8・13	87	
高津ホモ	塩辛	正助	30・10・16	86	6	久保田幸太郎	上野山新	30・11・2	86	
小野塚平吉	学校町	和田屋	30・11・10	86	7	羽鳥福松	木落卯之助	30・11・15	86	
中条松吉	大倉	兵右エ門	30・11・25	86	8	宮 恭	山野田朝日屋	30・12・9	86	
田村勘治	上野	田中	30・12・14	86	9	村山スイ	伊友治三郎	30・12・16	86	
田村重則	鶴吉	葛助	31・1・8	86	10	高橋義弘	高倉あめ屋	31・1・25	86	
星名チヨ	伊友	小路	31・2・5	86	11	滋野ソノ	野口勤五郎	31・2・11	86	
戸田ハル	仁田	八右エ門	31・2・13	86	12	村山タマ	高原田河原屋敷	31・3・1	86	
井川ツユ	新町新田	東浦	31・3・7	86	13	須藤スイ	下原新宅	31・4・19	86	
田村誠治	上野	太三郎	31・5・2	86	14	渡辺理平	上野常本	31・5・3	86	
南雲芳野	中央町	常盤屋	31・5・14	86	15	星名イマ	伊友源蔵	31・5・30	86	
藤巻藤松	塩辛	牛乳屋	31・6・7	86	16	大平惣平	原田五助	31・7・8	86	
中村直治	坪山	新宅	31・8・11	86	17					

「長寿者番付」発表
 十両以上は
 七十七人

九月一日付けで、町の長寿者番付が発表されました。
 番付には、満八十六歳以上の七十七人(男二十八人・女二十九人)の方が載りました。今年は昨年より十三人も多く、番付表は十両が七枚も増えました。
 東西の横綱はそのままです。新大関に原田の丸山周作さん、新関脇には上町の酒井クラさんと沖立の五十川キンさん、それに上野の藤巻力雄さんが昇進しました。小結は全員新しいメンバーです。

敬老祝品をお届けします

町と県から、長寿をお祝いし、次の記念品をお贈りします。

- ◆町から
 - *敬老祝品【お茶】 75歳以上(明治40年4月1日～41年3月31日生)の654人
 - *喜寿の祝【木杯】 77歳(明治41年1月1日～41年12月31日生)の71人(6月にお届けしました)
 - *80歳の祝【茶わん】 80歳(明治37年4月1日～38年3月31日生)の47人
 - *米寿の祝【座布団】 88歳(明治31年1月1日～31年12月31日生)の16人(来年1月にお届けします)
 - *90歳の祝【タオルケット】 90歳(明治27年4月1日～28年3月31日生)の10人
 - ◆県から
 - *77歳(明治40年4月1日～41年3月31日生)の63人に祝菓子
 - *88歳(明治29年4月1日～30年3月31日生)の15人に祝菓子とバスタオル
 - *95歳(明治22年4月1日～23年3月31日生)の2人に祝菓子と座布団
- *祝品は老人福祉週間内にお届けします。

川西町の誕生

『新潟県市町村合併誌』によると、昭和二十八年十一月二十六日に開催した中魚沼郡（二十二か町村）定例町村会、そのころ注目されはじめた町村合併問題を協議し、各町村に合併問題専門の研究協議会を置くことを決めた。

この日、中魚沼地方事務所が示した川西郷の合併構想は次の四案であった。

第一案、「吉田村・千手町・上野村」、「下条村・橋村」、「岩沢村・真人村」、「仙田村」
第二案、「十日町・川治村・六箇村・千手町・吉田村」、「下条村・上野村・橋村」、「岩沢村・真人村」、「仙田村」

第三案、「十日町・中条村・川治村・六箇村・吉田村」、「千手町・上野村」、「下条村・橋村」、「岩沢村・真人村」、「仙田村」

第四案、「十日町・六箇村・川治村・千手町・吉田村」、「下条村・上野村・橋村」、「岩沢村・真人村」、「仙田村」

この四案が示されると、古来、川西郷の中軸として行政上不可分の関係にあった川西郷六町村は、

町史の窓

中心部主張の態度を明確にし、これに對して国鉄固定資産税で財政が豊かになった千手町は両村の主張を回避しようとした。経済的に八割以上を十日町に依存している吉田村は、六か町村の合併に絶対反対であることを表明した。真人村は畜産関係で提携していける下条村との合併を強く望みこれに岩沢村を加え、橋村が中心部主流を捨てるなら北部四か村で合併したい考えであった。

当初、円満に実現すると思われていた川西郷六か町村の大同合併は、こうして虚々実々の駆け引き

と腹の探り合いが行われ、二十九年を頂点に紛糾の度を深くしながら、中心部四か町村の合併に動く機運がしだいに膨らんでいった。

このころの模様を新聞はあらまし次のように報じている。

郡合併促進協議会は二十三日地方事務所を開き、岩沢村が小千谷市との合併を決定したこと、千手町が川西合併について新構想を打ち出したこと、このため真人村が小千谷に走る気配が濃くなりつつあることなどの新事態に入ったので、これについて協議、検討を行うことにした。（中略）千手町がこのほど打ち出した新構想は、吉

田村稲葉部落と上野村を対等合併する、橋・仙田の二か村は吸収合併する、真人村が川西合併に賛成した場合これを受け入れる、の三点となっている。千手町がこの構想を打ち出したのは、まず上野村と稲葉部落と対等合併して来春一月に町長選挙を行い、役場を現千手町役場に決定した後に橋・仙田・真人を吸収し、川西郷の新しい町の中心となる意図のもとに決定したものと考えられている。このため真人村では、場合によっては小千谷市と合併する気配が濃くなっている。（二十九年十月二十日、十日町新聞）

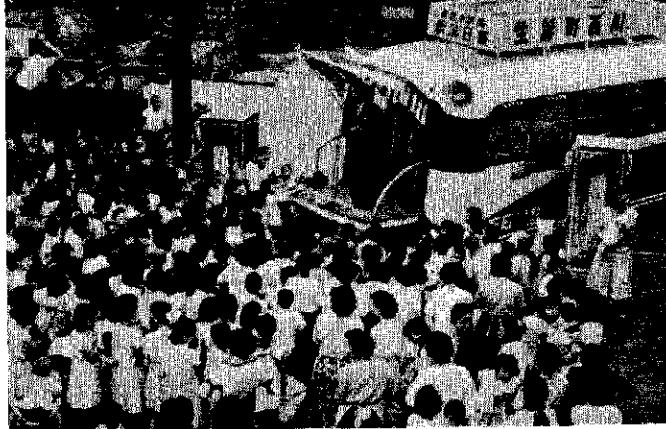
中魚千手町・上野村・橋村・仙田村の川西郷四か町村合併は、千手町が中心となって推進してきたが、仙田村だけがぼつんと離れていくところから橋村では千手・上野・橋の三か村合併ならともかく仙田村を含めた合併は距離的に無理だとしてきたため、合併問題も行き詰まっていたが、橋村の山田村長・田口議長は二日の午後千手町役場を訪れ中村町長に川西郷四か町村合併に全面的に賛成すると文書で正式にその態度を表明、四か町村合併はこれを契機に急速に推進されることになった。川西郷は、当初千手町を中心とした上野・橋・仙田・真人・吉田の六か町村が大同団結することになっていったが、その後吉田村が十日町市に合併を申し込み、さらに岩沢村・

真人村が相次いで小千谷市合併の態度を決めるなど難航を重ねてきたあとだけに、関係町村民も橋村と仙田村を含めた四か町村合併案賛成の態度にほつとした表情がある。（二十九年十一月四日、新潟日報）

（千手町が新構想を打ち出したとき、第二次としてこれに吸収合併するよりは、純農村という共通の立場で橋・真人・仙田の三村が対等合併しようと会議を持ったが、真人が小千谷に走ったことで事態は変わった）

合併の動きはようやく具体化し、この年十一月二十七日には四か町村首脳が新設合併の会議を開いた。しかし、新町名は千手町とし、庁舎は千手町役場位置にと主張する千手町に対し、町名は新町名とし庁舎位置は北原地内にと主張する上野・橋・仙田の三村と意見が対立して休会となり、せっかくの合併も成立が危ぶまれる事態になった。

一年間の沈黙が続けた合併問題は、千手町青年団（保坂国夫団長）と婦人会（田辺キイ会長）が、町内の各種団体長を招いて合併促進を話し合ったことから再燃した。上野村役場で開かれた第五回合併協議会（三一・六・九）で、新町名は川西町とし、庁舎を千手町役場に置くことを決めて合併実現に踏み切り、昭和三十一年九月一日に川西町が誕生した。



開町祝賀の様子（31. 11. 15）

昔の写真は ありませんか！

川西町史編さん係と歴史民俗資料館では昔の写真を探しています。

今ではりっぱな無雪道路が縦横に走り、広大なほ場整備田が整然と続き、しょうしやな家が立ち並ぶ川西町も、ついこの間までは、曲がりくねった草道を上がり荷をつけた牛馬がかっぱし、かやぶき屋根の軒下ではニワトリといっしょに子供が遊び、昼時になると村中の家からいっせいに薄紫色の煙がたなびき、ジロを囲んで一家そろってマンマを食べ、冬になれば村中すっぽり雪に埋まり、一面白量の中を一条のカンジキ道だけが

うねうねと村外れまで続き、トントンというワラ打ち、ハタ織りの音だけが聞こえる中を、時おり大小いくつかのワラボシが通り過ぎる……といった風景がどこでも見られました。

今では見るこのできないという姿を後世に伝えるためには、写真による記録保存しか方法がありません。

そこで……

- ・田かきや田植え、稲刈りなどの農作業や、養蚕、ハタ仕事
- ・盆、正月、祭りなどの年中行事
- ・家や部落、川、道などの風景
- ・野良仕事や山菜採り、狩猟、メグツなどのときの服装や道具
- ・子供の遊びや子守り、イネソイなどの手伝
- ・ジロを囲んだだんらんや屋内の様子
- ・道路開削や普請などの事業
- ・屋根屋、桶屋、鍛冶



子守



田かき

屋、紙すき、木羽へぎなど特殊な職種の作業や道具
その他どのようなものでもかまいません。昔の写真、ネガ、あるいはアルバム一冊でもけっこうです。

民俗資料

これらをお持ちの方がいらっしゃら、歴史民俗資料館(☎68)2128 有線3094)まで連絡ください。

お借りした写真は複写の後、必ず返却します。

- ・湯瓶、木石磨石
- ・南雲熊治さん(中仙田)から、アンギン
- ・藤本秀雄さん(伊友)から、アンギン、テシロ、コモツチ
- ・和田莊太さん(仁田)から、軍服、記念章、下駄(中歯、雪下駄)古銭、雑ノウ
- ・茂野耕作さん(伊友)から、半襟、オコソズキン、カツギ、アンギンコモツチ、ほか多数
- ・北堀雄雄さん(小白倉)から、鉄索滑車、モッコ棒、熊手
- ・高橋久蔵さん(三領)から、吉祥懸襪書掛軸、土製品
- ・金子誠平さん(岩瀬)から、型紙
- ・柳藤作さん(学校町)から、火ノシ、米サシ、米取り箱、手カギ、横槌、箱枕
- ・田村文作さん(高原田)から、ツク編み、セイロ、ブイトウ、衣類多数、スキー、ハモ、円飯台、戦前から戦後直後の教科書等多数、ワラグツ、イタチワナ、ほか多数
- ・片桐増美さん(小白倉)から、手カギ
- ・大倉部落から、腕用ポンプ、仙田青年団大倉分団旗
- ・田口直人さん(木落)から、肥カギ、荷ツケグラ、糸アゲ車、米ツキ杵
- ・喜田幸作さん(伊友)から、桑カゴ

税のしるべ

生命保険と税金

多くの家庭では、病気や交通事故など突然の災難に備えて、生命保険に加入しています。

納税者本人や家族を受取人とする生命保険や簡易生命保険等の保険料を支払った場合は、その年の支払額に応じて、最高五万円が「生命保険料控除」として、その年の所得金額から控除されます。

また、満期保険金や死亡保険金を受け取った場合は、保険料をだれが負担していたかによって相続税か贈与税、あるいは所得税がかかります。

傷害特約付生命保険で、身体の傷害や疾病に基づく給付金には税金がかかりません。

満期保険金を受け取った場合

保険料負担者	被保険者	保険金受取人	課税関係
夫	夫	夫	夫に所得税
夫	夫	妻	妻に贈与税

死亡保険金を受け取った場合

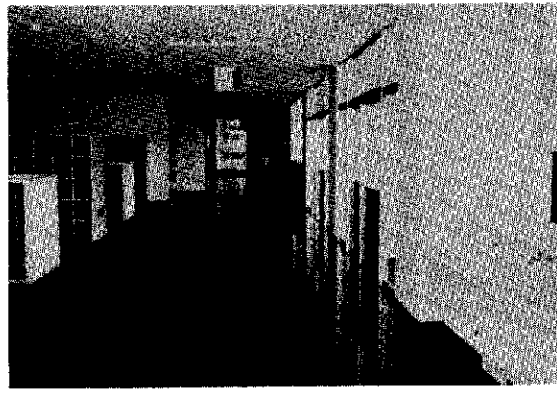
保険料負担者	被保険者(死亡)	保険金受取人	課税関係
夫	夫	妻	妻に相続税
夫	夫	夫	夫に所得税
夫	子	妻	妻に贈与税

橘小学校的

校舎が完成

橘小学校木造校舎改築工事が完了し、八月七日に竣工検査を行い、十日に引き渡されました。
 二期期から、全校児童が新しい教室で勉強をしています。
 改築工事は、昨年の夏休みから始まりましてので、まる一年で完了したことになります。
 校舎は、鉄筋コンクリート造三階建、延床面積は二千六百十四平方メートルです。
 建設費は、本体工事が二億五千二百万円、それに給排水暖房設備工事と電気工事を合わせると、三億二千万円になります。
 校舎の外壁の色はアイボリーホワイト、廊下の床にはえんじの合成樹脂が使われていて、なかなかモダンです。
 現在、前庭の舗装工事を行っているところで、正面玄関から入るのは十月からになります。

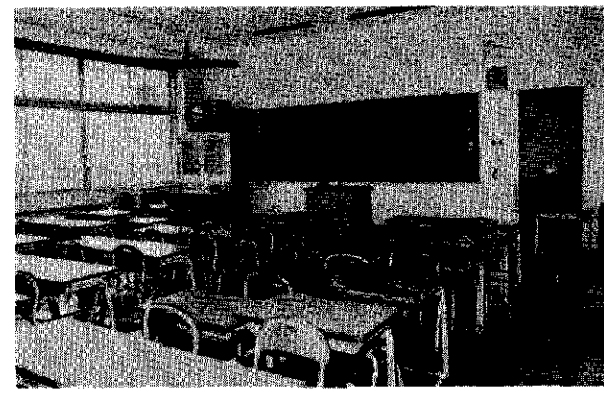
校舎南側部分



校舎の外壁の色はアイボリーホワイト、廊下の床にはえんじの合成樹脂が使われていて、なかなかモダンです。
 現在、前庭の舗装工事を行っているところで、正面玄関から入るのは十月からになります。



▲「学校が楽しいナ」



明るい教室

▲ゆったりした正面玄関

町民体育祭でハッスルを

▶とき 10月10日 ▶ところ 川西中グラウンド

十月十日には、四年に一度の町民体育祭が開かれます。会場は川西中学校のグラウンドです。
 町民体育祭は、昭和三十五年から始まり、オリンピックと同じ年に行われています。
 第六回・町民体育祭のプログラムは次のとおりです。
 ＊日時 十月十日
 午前八時十五分集合
 (雨天の場合は十月十四日)
 ＊会場 川西中学校グラウンド
 ＊競技種目
 ・百メートル競走(オープン)
 ・走り幅とび(オープン)



前回の体育祭の一コマ

●球入れ(地区対抗)
 ●むかでリレー(地区対抗)
 ●水くみリレー(地区対抗)
 ●二十一世紀リレー(地区対抗)
 ●綱引き(地区対抗)
 ●障害物レース(地区対抗)
 ●走り高とび(オープン)
 ●ボール送り(地区対抗)
 ●千五百メートル競走(地区対抗)
 ●年齢別リレー(地区対抗)
 このほか、小学生民謡、チビっ子レース、応援合戦、中学生マッスゲームがあります。
 あなたはどの種目が得意ですか、早めに地区役員に申し出たほうがいいですよ。競技に出られない方は応援でハッスルしてください。スポーツの秋です。町民体育祭にみんなが参加し、楽しい一日をお過ごしください。

「わが家の家計簿」体験談
新潟県貯蓄推進委員会入選作品

楽しく生きるために……③

渡辺 ヒ サ
(新町新田)



□楽しく生きるために

去年の4月に、一人娘に婿を迎えてわが家にもぎやかに、家計簿にも今までとは違った数字が表れるようになりました。わが家の今までのこと、そして、これからのあり方などを話し合っています。婿さんも主人がずっとそうであったように、月給袋の封を切らずに渡してくれています。またそれだけに、小遣いなどの必要なものは話し合っただけですが、何かと気も使っています。

これまで記帳を続けられたのも家族の協力のおかげです。子供には何も残してやれませんでした。家計簿の記録を、わが家の歴史の一員として残すことが、唯一の贈り物と思っています。保有米の量や交際の移り変わりから家族の健康状態の記録など、いつの日かきつと役に立つものと信じています。

一昨年は娘の結婚に備えて2階の大改造をやり、去年は娘の結婚式も無事に済ませ、10年もがんばってくれた主人の車も買い替えました。去年の決算を見て、「どこから持ってきたのか知らないが、やってくれたネ」と主人が言ってくれました。今度は私たち老夫婦の楽しみの実現に向けて少しずつ蓄えてゆきます。来年あたりは少し遠くへ行ってみたいナ、などと楽しい夢も見えています。娘の和裁の仕事を手伝いながら、自分の時間も持てるようになり、がんばってきてよかったなあと思うこのごろです。

私はトマトやすいかを作ることが好きです。なるべく農薬を使わない自給野菜をいっぱい食卓に載せたいと思います。今までの努力を無駄にしないように、若夫婦ともよく話し合いながら、家計簿も、自給野菜作りも、バトンタッチをする日までがんばりたいと思っています。(終わり)

社明募金のご協力

ありがとうございます

ございました

「社会を明るくする運動」の一環として、七月中に実施した封筒募金に、次のようなたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

*目標額 四十六万六千円

*実績額 四十七万四千四百二十

円

*達成率 一〇一・八パーセント

川西町職員の募集

川西町職員採用初級・保健婦試験を次により行います。

①試験区分と採用予定人員

区 分	職 種	採用予定人員
初 級	一般事務	1 人
—	保 健 婦	1 人

②受験資格

(1)初級(一般事務)

- ・大学卒業者の場合 昭和56年3月以降の卒業者または昭和60年3月卒業見込みの人
- ・短期大学卒業者の場合 大学卒業者の場合と同じ
- ・高等学校卒業者の場合 昭和53年3月以降の卒業者または昭和60年3月卒業見込みの人

(2)保健婦

- ・昭和30年4月2日以後に生まれた人で、保健婦の資格取得者または昭和60年3月31日までに資格取得見込みの人

③試験日時と試験場

- ・初級(一般事務)は、第1次および第2次試験を行います。
- ・保健婦は、第2次試験のみを行います。
- (1)第1次試験(新潟県人事事務組合で行う試験)
- ・試験日 11月4日(日) 受付時間 午前9時から午前9時40分まで
- ・試験場 長岡市城内町3 長岡女子高等学校
- ・方法 教養試験として高等学校卒業程度の内容で、地方公務員として必要な一般的知識、それに知能についての択一式による筆記試験と作文試験を行います。
- ・合格発表 12月上旬ごろ

(2)第2次試験

- ・試験日 12月中旬ごろ
- ・試験地 川西町
- ・方法 初級(一般事務)第1次試験合格者および保健婦受験申込者に対し、面接試験・身体検査を実施します。

④最終合格者の発表 12月下旬ごろ

⑤採用 昭和60年4月1日

⑥受験手続

(1)申込書の請求先 役場総務課

(2)申込方法 受験申込書に所要事項を記入・押印し、写真(縦4cm、横3cm)3枚を添えて、役場総務課に直接持参するか、郵送してください。保健婦の場合は、履歴書、保健婦免許状の写し(すでに資格を取得している人)、保健婦学校等が発行した成績証明書をそれぞれ1通、同時に添付してください。申し込みの際、試験案内を差し上げます。

(3)申込書の受付期間

9月10日(金)から9月29日(土)まで(勤務時間内にお願ひします)。郵送の場合は、締切日までに到着したものに限り受け付けます。

※詳しいことは、総務課へお問い合わせください。



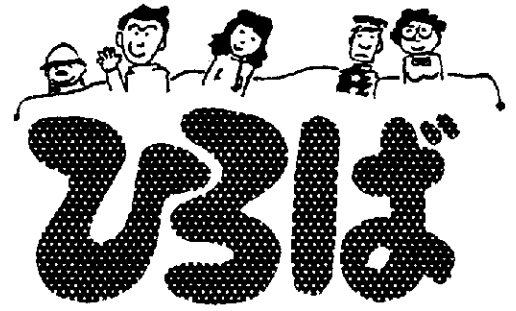
▲ 子供みこし (8/22 千手神社付近で)

▶ 盆踊り大会は総合センター前で (8/23)



千手祭りは 上々の天気

八月二十二日、二十三日の千手祭りは、いつも雨に悩まされますが、今年は少しは降ったものの、祭りには上々の天気でした。



稲刈りが始まりました。今年は大雪のため、田植えがいつもの年より10日ほど遅かったのですが、その後は好天に恵まれ、作柄はまずまずのようです。

農作業機械を十分点検し、事故のないようご注意ください。

今回のひろばでは、各地の秋祭りの模様を取り上げました。

近ごろは、みんなで地区の祭りを盛り上げようとする空気が広がっています。

昭和十六、七年ごろに戦争のためとだえた諏訪祭りの「花とうろう」を、野口青年会のOB「七日会」が復活させました。
麻の葉の模様を和紙に切り抜き、それに色を塗ります。これがたいへんな作業で、10cm×22cmくらいのものを切り抜くには三時間もかかります。
七日会は七月の末から野口公民館に毎晩十二、三人ずつ集まり、五つの「花とうろう」を八月二十六日の祭りの直前まで作り、作り上げました。



▲ もうすぐ完成します (8/20 野口公民館で)

「花とうろう」復活

野口「七日会」の手で



◀ 野口の諏訪神社 (8/26)
「花とうろう」の前でお神酒を一杯

恒例の大仮装大会

上野 「七日祭り」



▲ 子供団体1位の
「上野 子供まつり」

▼ 大人団体は
「海賊船第三田麦丸 旗揚げ」



上野諏訪神社の祭礼は、八月二十六日、二十七日の二日間です。
二十六日夜の仮装行列を、今年も大ぜいの見物人が取り囲みました。

“もみじ引き”に熱気



力を合わせて引きます

小白倉の

十二社祭礼

小白倉「十二社祭礼」は、八月三十一日から九月三日までです。一日の夜は仮装大会でたいそうなにぎわいを見せました。

それからもう一つ、「もみじ引き」という独特の行事があります。これは例年三日に行われるもので、初子の誕生やお嫁さんを迎えた家などへ、青年会と有志一同が、もみじの木を引いてお祝いに回ります。

今年は、学校ともみじの木の持



ち主を含めて、五軒を祝福したとのこと。写真に小白倉青年会から借りました。水を掛けられ、いい気持ち。

高橋隆三選手 相撲の全国大会で健闘



高橋選手

全国中学生相撲選手権大会個人戦の出場権を得ました。

全国大会は、八月二十四日に和歌山県宮相撲場で開かれました。個人選には各都道府県の代表四十八人が出場し、熱戦を展開しました。

川西中学校三年生の高橋隆三選手(上町)は、七月二十日に上越市で行われた新潟県中学生総合体育大会相撲の部で個人優勝をして、

この中には、身長では一八三センチの選手が数人、体重の最高は一五三キロという選手がいました。大相撲の力上も勝負するような体格です。

ちなみに高橋選手は、身長一七〇センチ、体重八七キロのがつしりした体つきです。

高橋選手は、一回戦で山口県の選手を得意の押し出しで破りましたが、二回戦では地元和歌山県の選手に寄り切られました。

「全国大会では、体力の違いと練習量の差、それに場所慣れしていないので上がってしまった」と率直な感想を述べてくれました。

相撲は基本練習が必要であり、これからは後輩の指導をしていきたいとのことでした。

なお、川西中学校は、県大会の団体戦で準優勝をしています。

わしの自慢

人気のミニ肥かご

中仙田

南雲田平治さん

南雲さんの肥かごのミニチュアに人気が集まっている。

「実用のもも毎年三つくらい作っているんですよ。大きいのもミニのもかごふじを使います」

かごふじとはアケビのつるのことである。

「ミニ肥かごを作り始めたのは十年も前からですが、しばらく休みました。二、三年前にきのこを採りに山へ行き、かごふじをたくさん見つけたので、また始める気になりました」

それから今までに三十個ほど作り、松葉荘にもいくつか出したとのこと。

「二十センチくらいのはまる一日あればできます。材料のつるは秋に集め、よく乾かし



庭先で作品展 後ろはくじやく小屋

ておき、使うときはぬるま湯に浸して柔らかくします」
肥かごは、骨になるちようどよい木を探すのと、骨につるを巻き付けるのがたいへんである。
「つるの長いのは一本三メートルくらいあります。ゆるめないで巻くのがめんどろです。つなぎは骨のところだけです」
ミニだけでなく、実用のももいくつか願われているという。
「冬場にしなければ作る気になりません。それに夏場は田や畑もありますからね」
南雲さんは、ザルやカゴなどの竹細工も得意である。
「子供のころ、兄が作っているのを見て覚えたいものです」
現在は、別のミニ民芸品などを考え中とのことである。
「年を取ってから仕事がなくたっては困りますからね」と笑みを浮かべて話された。

ガイド 情報

自衛官募集中

安定した待遇と
開かれている未来



- * 受付期間
1年間を通じて行っています。
 - * 応募資格
採用予定日の1日現在
 - * 身分
特別職国家公務員です。
 - * 給与
初年度俸給月額 98,000円
(9~12か月たてば昇給して
106,800円)
 - * 各種手当
期末・勤勉手当(ボーナス)は、
年3回(3、6、12月)4・9
か月分支給されるほか、扶養手
当、特殊勤務手当、寒冷地手当
等、各種手当が勤務内容によっ
て支給されます。
 - * 免許・資格の取得
自衛隊の装備は、常に科学の粋
を集めたものが使われているた
め、技術教育には特に力を入れ
ていますから、各種の国家免許
を取得する機会があり、退職後
の就職にも役立ちます。
- ▶ 詳細についての問い合わせ先
・ 役場住民課
・ 自衛隊新潟地方連絡部長岡出張
所 ☎ 0258(33)0256

十日町地域障害者

福祉大会

十月十日に十日町市民会館で

日程表	
9:30	受付
10:00	開会式
10:30	私の主張大会
11:00	昼食 トラクション
12:00	パネル ディスカッション
13:00	閉会式
15:00	
15:10	
15:30	

作品展

十月十日に十日町市民会館で「十日町地域障害者福祉大会」が開かれます。主催は十日町地域障害者福祉大会実行委員会です。

郡市内にも心身にハンディキャップを持った人がたくさんいます。こうした人たちが社会に完全参加をするにはどうしたらよいのでしょうか。

大会では、パネル展示や作品展で現在の姿に対する理解を深めていただき、パネルディスカッションで今後の方向を探っていきます。パネルディスカッションには、助言者として日本女子大学教授・一

番ヶ瀬康子先生が加わります。

私たちの地域が、子供も老人も、障害を持つ人もそうでない人も、手を取り合ってよりよく生きていけるような地域に育つよう、みんなで作る、行動に移しましょう。

作文を募集

「心の病気やからだの不自由なことに」について
「私の主張」

障害者福祉大会の一環として

「心の病気やからだの不自由なことに」について「私の主張」作文を、広く郡市内から募集します。あなたの生の声をお寄せください。

【テーマ】心やからだの障害に関すること。障害者の社会参加に関すること。

【応募資格】障害の有無にかかわらず、郡市内在住の満十五歳以上の方なら、どなたでも構いません。

【字数】本文四百字、語原稿用紙五枚以

内。ほかに、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のこと。

発表

大会当日(五)七人の方から朗読していただきます。(ことばの不自由な方は代読となります)

記念品

応募者全員に記念品を差し上げます。

締め切り

九月二十五日

送り先

十日町社会福祉事務所、私の主張係 ☎ 948 十日町市千歳町二二三
※原稿は返却しません

消火器の

悪質訪問販売にご注意

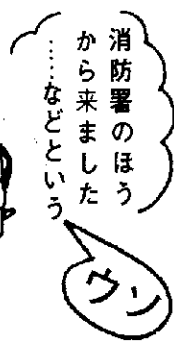
最近、十日町地域管内で、消火

器の悪質セールスに高値で消火器を買わされた、という苦情が頻繁に発生しています。

「消防署のほうから来た」とか「消防法令が改正された」などと、いかにも消防職員らしい服装で、強制的に販売する業者が出回っています。

「一般家庭にも設置義務がある」「この消火器は失効消火器である」と言って、消火器を法外な値段で販売するものです。

被害に遭わないように注意してください。(消防川西分遣所から)



停電のお知らせ

- 9月14日（金）／午後1時30分から午後4時30分まで、中屋敷の一部・寺尾の一部。
- 10月9日（火）／午前9時から正午まで、下原・四十歩。

● 一般寄付金
※東京・台東区にお住いの藤巻仁
作さんから五十万円

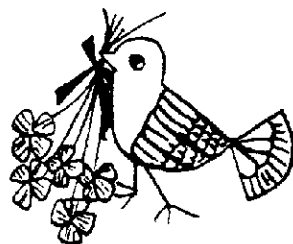
● 社会福祉協議会へ
※高橋善次さん（仁田）から三万円

● ※星名セツさん（沖立）から三万円

● ※教藤昭夫さん（沖立）から五万円

善意

次の善意が寄せられました。



さんぽ

健康ウォークでいい汗！

「10km歩けあるけ大会」
232人全員が
ゴールイン

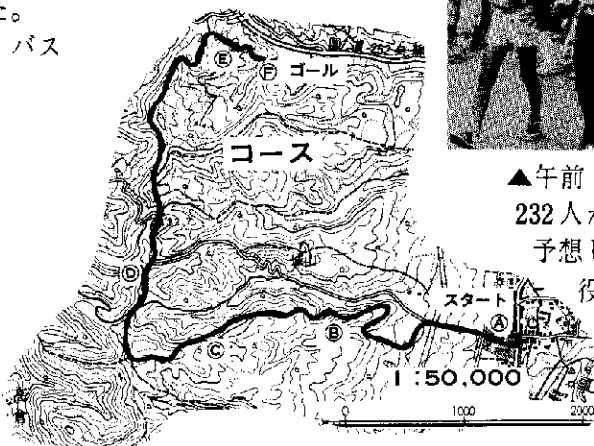
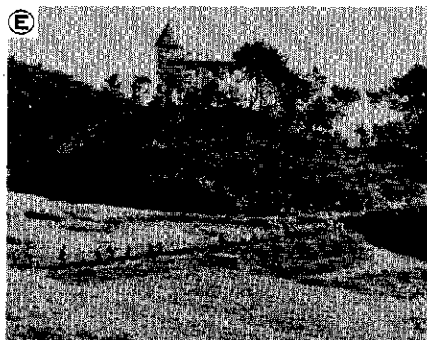
「健康づくり10km 歩けあるけ大会」が、千手地区体育振興会の主催で、9月2日（日）に開かれました。

その様子を写真でルポルタージュします。



▶ 3歳の女の子から77歳の男性まで、参加者 232人が2時間代で全員ゴールインしました。

この後、ぶた汁に舌鼓をうち、バスで家に帰りました。



▲午前8時30分、雨の落ちる中を232人がいっせいにスタート。予想していたより参加者が多く、役員は大わらわしました。



▲ゴールの松葉沢公園が見えてきました。重たかった足どりが軽やかになってきました。



▲霧谷地内、刈羽の黒姫山が見える景色のよいところです。
出発してから約2時間。



▲ここでちょいと一休み。林分記念碑のところで、先頭グループは後続の人たちを待っていてくれました。
水筒の水が疲れをいやしてくれます。
この辺が中間点でしょうか。時計の針は9時40分でした。



▲雨は10分くらいで上がり、今度は日差しが強くなりました。

この辺は、コースの中でいちばん急な坂道です。汗を光らせながら、黙々と上っています。

時間は9時10分ごろです。

くらしとけんこ

予防接種を

受けましょう

予防接種が普及して、恐ろしい伝染病の流行がずいぶん少なくなりました。

しかし、現代は交通網が発達し、人の動きも激しいので、流行の可能性はいつでもあり、油断は禁物です。予防接種は確実に受けるようにしましょう。

予防接種は、体の調子のよいときに受けなければなりません。効果がなかったり、副作用が出たりすることがあるからです。

予防接種の通知がきたら……

①健康診断を受けておきましょう

ふだんからなんとなく健康が優れない、病気にかなりやすいなど心配なことがあります。心配なことがありましたら、事前にかかりつけの医師に健康診断をしてもらいましょう。

②体温を計っておきましょう

子供の体温は、上がり下がりが激しく、外

出したり環境が変わったりするとすぐ変化します。体温を計ってから出かけましょう。

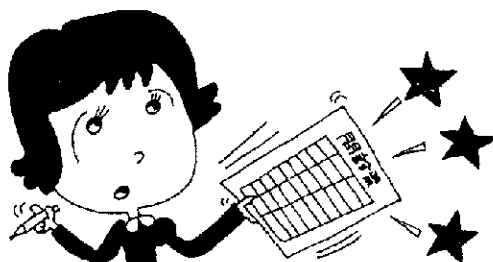
③母子手帳を忘れずに

母子手帳には、お子さんが生まれた時の状態や、その後のことが記入してあり、予防接種の参考になりますので、必ず持参してください。

④問診表は正しく確実に

問診表は、予防接種による事故を未然に防ぐため、事前にお子さんの健康状態をチェックするものです。保護者が責任を持って、正確に記入してください。書きまちがえたときは、訂正印を押してください。記入もれ、押印のない場合は、予防接種を受けられません。

以上のことに注意し、お子さんの体の調子を整え、注意書をよく読んで接種に臨んでください。



戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

小川 和弘 良一 長男 岩瀬
丸山みづえ 新作 長女 原田
田村 幸一 和男 長男 高原田
高橋 聡子 賢一 長女 中屋敷
柄澤 久恵 和久 長女 沖立
大久保 樹 正重 二男 野口
和久井 聡明 長男 木落

丸山 良和 基治郎二男 中仙田
片桐 恵子 一弥 長女 上野
大海美和子 剛 長女 霜条
秦野智恵美 守男 長女 仁田
星名 恵輔 恒雄 長男 伊友

昇天—こめい福を祈る

高橋 晃 田中町 三〇
數藤 孝平 沖立 六八
高橋 國一 赤谷 七五
星名善次郎 沖立 七五
田口四一郎 木落 七六
樋口 敬吉 中島町 八五

心配ごと相談

- 9月12日……橋出張所
- 9月19日……克雪センター
- 9月26日……総合センター
(行政相談も行います)
- 10月3日……上野連絡所
- 10月11日……橋出張所

8月の交通事故発生件数

		計(18)		累 計(20)		(0)		(2)		(6)	
死者	2	(3)	9	15	1	0	0	0	0	0	0
傷者	2	(3)	15	1	0	0	0	0	0	0	0
死傷者	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酒気	0	(0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
酒気	2	(2)	13	1	0	0	0	0	0	0	0

()内は前年比較



かわにし俳壇

太田白南風選

三領 高橋たかし
芋の葉に恵みの雨のころごと
挨拶に残暑のことを言い合える

朝夕の涼しくなりて厄日過ぐ
群がりて蟬曳く蟻の日照かな
待ちおりし喜雨のありたる大根時く

野口 野沢 寅生

●踊子の二人連れなる顔包み

肩までも袖をまくりて音頭取る
強情と言われし父の大根時く

片言の孫に匂える天瓜粉
胸に蟬とめて四五人子等集う

赤谷 登坂 酔月

●灯台の遙かに灯り星流る

炎天の歩道に落ちし蟬哀れ
大根時く喜雨を待ちける昨日今日
大根時く歎を小池に浸しおく
老の腰折々伸ばし大根時く

霜条 星名 星光

●参道の苔青々と涼しけれ

白萩の花細やかに闇に浮く
白萩の咲きしと案内さる、ま、
蟻地獄石垣崩る過疎の村
水中花鏡にうつり美しく

中仙田 左木人

●鉄塔の点々として雲の峯

本堂の読経に溶け入る蟬の声
八月の月ぼんぼりの如く出で
大神に祈る心や出穂揃う

三領 水品 律

満そばの花に暮色の影早し
蟬時雨いつしか止みて夕涼し
新涼やつむぎの白き糸を繰る
新涼のスカイラインに夕日照る

岩瀬 小川 益栄

陽を浴びて動くものなき暑さかな
黍の穂の思い思いに吹かれをり

元町 上村 トミ

日照り月出ている下の墓参かな
屋根越しにかすかに揚がり遠花火